

2024年に発生した食品工場及び業務用厨房施設等における一酸化炭素中毒事故一覧						
	月日	県名	死亡	中毒	事故概要	ガス種
1	4月27日	東京都	0	3	換気設備不使用中に伴う排ガスCO中毒。 原因は、何らかの要因で麺ゆで器が不完全燃焼し、さらに換気扇を使用していなかったことでCOが室内に滞留した状態となり、CO中毒に至ったものと推定される。(事業者推定)	都市ガス
2	5月15日	大分県	0	1	換気不足(推定)に伴う排ガスCO中毒。 原因は、業務用オープン使用時の換気不足(排気)によるもの。換気扇を作動させていたとのことだが、結果として換気(排気)不足が原因と推定される。(消防推定)	LPガス
3	5月29日	熊本県	0	2	換気フードの清掃が不十分だった事に伴う排ガスCO中毒。 原因は、業務用オープンの給気側フィルターの目詰まり及び給食室内の換気フード清掃が不十分だったことにより給気不足を起こし、不完全燃焼を起こし発生した一酸化炭素が排気されなかった。また、給食室のガラリ側にある運動場の砂ぼこりがガラリを通して室内に入り、業務用オープンの給気側フィルターに入り込み、更に機器内部にまで砂ぼこりが大量に入り込んだことにより、プロアファンが回転異常を起こし、煤の発生及び酸欠からの高濃度の一酸化炭素発生が起きた。(事業者見解)	LPガス
4	7月12日	新潟県	0	3	換気設備不使用中に伴う排ガスCO中毒。 原因は、業務用食器洗浄機使用時に、室内の換気が不十分(出入口・窓閉鎖、換気設備停止)であったことから、当該洗浄機上部ボイラーが不完全燃焼となり、発生した一酸化炭素が室内に滞留した。(消防見解)	LPガス
5	7月22日	福岡県	0	3	換気不足に伴う排ガスCO中毒。 原因は、飲食店の厨房において、吸気口になっていた窓(営業中は常時開)を、空調効果向上のために閉めた事により、密閉状態となった厨房内でガス機器を使用したため、酸欠状態になり、一酸化炭素が発生した。	LPガス
6	7月28日	大阪府	0	4	換気不足に伴う排ガスCO中毒。 原因は、原因は麺ゆで器と先止め湯沸器を使用時に、従業員が換気扇を使用していたかは不明だが、何らかの要因で換気不足となり一酸化炭素が発生したものと推定される。(事業者推定)	都市ガス
7	8月15日	大阪府	0	1	換気設備不使用中に伴う排ガスCO中毒。 原因は、換気設備を作動させずにガス機器(業務用レンジ・業務用麺ゆで器)を使用したため、CO中毒に至ったものと推定。(ガス事業者推定)	都市ガス
8	9月19日	長崎県	0	1	換気設備不使用中に伴う排ガスCO中毒。 原因は、業務用厨房において、換気扇及び窓を、空調効果向上のために閉めた事により、密閉状態となった厨房内でガス機器を使用したため、酸欠状態になり、一酸化炭素が発生した。	LPガス
9	10月5日	東京都	0	1	換気設備不良に伴う排ガスCO中毒。 原因は、換気設備の吸い込みが弱い状態で燃焼排気ガスが厨房内に滞留する状態であり、かつ、ガス機器のダンパーが絞られた状態となっており、燃焼に必要な空気が取り入れられない状態であったことから、不完全燃焼を起こし、CO中毒に至った。(事業者推定)	都市ガス
10	12月13日	鹿児島県	1	0	換気不十分に伴う排ガスCO中毒。 原因は、窯小屋の換気が十分でなかったこと、窯が完全に密閉されていなかったことから、何らかの原因で不完全燃焼を起こし、一酸化炭素が発生したと推定。	LPガス (高圧ガス保安法)